

市民の伊勢志摩サミット
持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた市民社会からの提言

2016年5月 SDGs 市民社会ネットワーク

昨年9月、国連特別総会において全会一致で採択された「私たちの世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、17の持続可能な開発目標（SDGs）を含む、今後15年間の世界の進むべき道を示した画期的な合意文書です。

2016年5月23日・24日に開催される「市民の伊勢志摩サミット」において、SDGsの実施に取り組む市民社会は、G7首脳に対し、以下の提言をいたします。

<背景>

- ✓ 策定されたSDGsの達成期限は2030年。すぐに行動を起こす必要があります。
- ✓ G7を含む先進国もSDGsの達成が求められています。一方、2030アジェンダ実施は各国に任されています。国内の実施体制を確立しなくてはなりません。
- ✓ 格差が広がる今、「誰一人取り残さない」という2030アジェンダの原則を、どのように実行しているのかが大きな課題です。
- ✓ 環境だけでなく、経済、社会の三分野に統合的に取り組むことが求められています。また、途上国の開発課題だけでなく、国内課題にも取り組む必要があります。

<G7各国首脳への提言>

- ✓ 国家実施計画を策定し、SDGsを既存の計画や戦略、外交政策や予算に反映させること。
- ✓ すべての計画・戦略に「誰一人取り残さない」を中心に据え、環境・社会・経済の三分野に統合的に取り組むこと。
- ✓ 包摂的かつ市民の参加による進捗状況の報告等の説明責任を確立すること。
- ✓ （日本政府に対して）計画策定及び実施のための体制として、省庁連携による「2030アジェンダ推進本部」を立ち上げ、多様な非政府アクターとの協議を公正に行うとともに、市民社会の実質的な参画を確保すること。

以上

■呼びかけ団体/賛同団体（者） 19団体 16名 （5月28日現在）

- 一般社団法人 地域連携プラットフォーム
- 世界平和女性連合三重第1連合会
- ユニバーサルデザイン・ステップ
- さっぽろ自由学校「遊」
- 不戦へのネットワーク
- 動く→動かす
- 特定非営利活動法人 市民社会研究所
- 特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター
- 特定非営利活動法人 四日市NPO協会
- 特定非営利活動法人 ユニバーサル就労センター
- 水環境もやい研究所 川合 千代子
- 公益財団法人 アジア保健研修所（AHI）
- 特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会
- 特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会（AJF）
- バイオダイバーシティ・インフォメーション・ボックス
- 特定非営利活動法人 泉京・垂井
- 持続可能な社会にむけたジャパン・ユース・プラットフォーム
- 国際公務労連東京事務所
- NPO グローバルプロジェクト推進機構 アイアーン大正琴プロジェクト代表 廣田 元子
- 清水 香子
- 長岡 素彦
- 西井 和裕
- 宇佐美 良知
- 工藤 志保
- 今井田 正一
- 神田すみれ
- 比嘉 綾
- 魯 慈忍
- 三田 景子
- 津山 直子
- 黒川美恵子
- 伊与田昌慶
- MASAHIKO SHIMA
- 岸 辰夫
- 松崎 稔